











野菜の需給・価格動向レポート(平成25年12月16日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	11月の価格情報			12月の価格情報		生育及び価格の12月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロッ ク旬別平均販売 価格				
		中旬	下旬				上旬		
葉 茎 菜	キャベツ 	66.30	90	123	66.3	121	・入荷見込量:12,910(94) ・主産地:愛知(51)、千葉(26)、神奈川(9)、茨城(8)	・愛知産は、夏の高湿、少雨のため根の張りが悪く小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も引き続き少なめの出荷の見込み。千葉産は、低温の影響で小玉傾向のため、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		69.92	107	120	69.92	123	・入荷見込量:3,900t(96) ・主産地:愛知(63)、大阪(5)、兵庫(5)		
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	218.22	255	260	218.22	225	・入荷見込数量:6,320(99) ・主産地:千葉(23)、茨城(18)、埼玉(17)、群馬(13)、栃木(8)、輸入(4)	・千葉産は、生育の遅れも回復し順調な出荷となっているものの、平年をやや下回る出荷の見込み。茨城産は、台風の影響から曲りや折れがあり、平年を下回る出荷となる見込み。埼玉産は、順調な生育で肥大も進み、平年を上回る出荷となっており、今後も平年を上回る出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		444.77	646	671	444.77	606	・入荷見込数量:230t(101) ・主産地:徳島(22)、奈良(14)、高知(14)、三重(11)、大阪(11)、群馬(10)、香川(9)		
	はくさい 	36.65	77	58	36.65	56	・入荷見込量:14,380t(96) ・主産地:茨城(95)	・茨城産は、11月の低温の影響により小玉傾向となっていることから、少なめの出荷となっており、今後は年末にかけて微増するものの、平年より少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		53.29	96	83	53.29	73	・入荷見込量5,400t(96) ・主産地:茨城(29)、愛知(16)、熊本(13)、和歌山(10)、岡山(8)、宮崎(8)、大分(6)		
	ほうれんそう 	350.1	644	666	350.1	528	・入荷見込量:1,290t(94) ・主産地:群馬(43)、千葉(18)、茨城(16)、埼玉(12)	・群馬産は、最近の好天により生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。千葉産も、生育が回復傾向となり、品質も概ね良好で、年末に向けて出荷量が増加する見込み。 ・出荷量の増加が見込まれるものの、年末商材での需要が強いため、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		419.76	689	703	419.76	623	・入荷見込量:590t(99) ・主産地:徳島(50)、福岡(28)、岐阜(10)、群馬(6)		
	レタス (結球) 	136.79	212	305	233.85	254	・入荷見込量:6,710t(101) ・主産地:静岡(34)、兵庫(14)、茨城(14)、香川(9)、千葉(4)、福岡(4)	・静岡産は、低温の影響で玉伸びせずに小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も、少なめの出荷が続く見込み。兵庫産は、小玉傾向であるものの、最近の好天により生育が回復し、今後は、出荷量が増加する見込み。茨城産は、出荷の終盤となり減少傾向で、平年より少なめの出荷の見込み。 ・静岡産及び茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		147.25	233	315	226.75	270	・入荷見込量:1,300t(127) ・主産地:兵庫(43)、徳島(25)、香川(8)、長崎(7)、熊本(7)		
たまねぎ 	76.15	113	113	76.15	122	・入荷見込量:10,860t(93) ・主産地:北海道(88)、輸入(7)	・北海道産は、収穫が終了。生育期の少雨等の影響で肥大が進まず全体的に小玉傾向となっており、平年を下回る出荷となる見込み。 ・北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
	76.15	124	118	76.15	134	・入荷見込量:3,200t(75) ・主産地:北海道(79)、兵庫(20)			
果 菜	きゅうり 	262.75	413	376	370.98	327	・入荷見込量:4,220t(97) ・主産地:宮崎(40)、千葉(19)、高知(16)、埼玉(14)	・宮崎産は、現在出荷のピークを迎え、日照量にも恵まれ、順調な出荷となり、平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、日照量にも恵まれ生育が回復傾向で、平年よりやや多めの出荷の見込み。高知産及び埼玉産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。 ・年末にかけて価格が上昇する時期ではあるが、順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みで推移する見込み。	
		284.72	376	367	350.33	307	・入荷見込量:1,000t(102) ・主産地:宮崎(50)、高知(25)、徳島(10)		
	トマト (大玉) 	315.83	431	493	332.6	462	・入荷見込量:4,770t(98) ・主産地:熊本(48)、愛知(19)、千葉(8)、静岡(6)	・熊本産は、11月の気温の低下と曇天の影響で、着色が遅れ少なめの出荷となっており、今後は、少なめ出荷の見込み。愛知産も、11月の気温の低下により着色が遅れ、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。千葉産は、小玉傾向であるが、順調な出荷で数量が徐々に増加し、今後は、平年よりやや多めの出荷量となる見込み。 ・熊本産及び愛知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		337.88	426	474	311.06	436	・入荷見込量:890t(99) ・主産地:熊本(60)、愛知(14)、徳島(8)、福岡(6)		
	なす 	301	423	449	389.03	500	・入荷見込量:1,650t(98) ・主産地:高知(62)、福岡(16)、佐賀(5)	・高知産は、最近の好天もあり生育は順調で、今後は年末にかけて出荷量がやや増加するものの、平年並みの出荷の見込み。福岡産は、遅れていた生育が回復傾向であるものの、中旬までは少なめで、今後は年末に向けて出荷量が増加する見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		263.21	406	441	397.74	514	・入荷見込量:330t(100) ・主産地:高知(33)、熊本(29)、福岡(19)、岡山(11)		
	ピーマン 	344.39	460	412	344.39	420	・入荷見込量:1,330(98) ・主産地:茨城(36)、宮崎(35)、高知(16)、鹿児島(13)	・茨城産は、低温等の影響で遅れていた生育が、回復傾向で、今後は出荷量の増加が見込まれるものの、平年よりは少ない出荷の見込み。宮崎産は、最近の好天もあり、平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。	
		353.61	438	401	353.61	414	・入荷見込量:250t(102) ・主産地:宮崎(61)、高知(24)、鹿児島(13)		
	根 菜	だいこん 	64.33	90	84	64.33	77	・入荷見込量:13,030t(98) ・主産地:神奈川(48)、千葉(42)	・神奈川産は、小ぶり少なめの出荷となっているものの、今後増加して、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、最近の低温の影響で肥大が進まず小ぶりとなっており、平年より少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
			76.48	93	90	76.48	84	・入荷見込量:3,600t(100) ・主産地:鹿児島(33)、和歌山(29)、長崎(18)、徳島(14)	
にんじん 		100.82	157	176	100.82	141	・入荷見込量:8,070t(91) ・主産地:千葉(77)、埼玉(7)、茨城(4)、輸入(2)	・千葉産は、夏場の高温と生育時の少雨で小ぶりであったことから、全体では少なめの出荷となるものの、年末にかけてやや多めの出荷となる見込み。埼玉産は、低温の影響により、生育の遅れがみられたものの、11月下旬以降の好天により、生育は回復傾向で平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。	
	104.49	179	191	104.49	157	・入荷見込量:2,100t(93) ・主産地:長崎(72)、鳥取(16)、鹿児島(7)			

種類	11月の価格情報				12月の価格情報		生育及び価格の12月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	
		中旬	下旬				
いも	さといも	200.88	239	236	200.88	252	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉産は、順調な生育で大玉傾向となっており、平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。千葉産は、夏場の高温、干ばつの影響から肥大が進まず小玉傾向であることから、平年と比べやや少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。</li> <li>・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。</li> <li>・北海道産は、収穫が終了。地域により作柄に違いはあるが、全体では最も出荷の多い十勝の作柄が良かったことから、平年並みの貯蔵量の見込み。</li> <li>・貯蔵ものの計画的な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、現状程度の水準で推移する見込み。</li> </ul>
	ばれいしょ	207.2	281	286	207.2	282	
	ばれいしょ	88.17	98	98	88.17	101	
	ばれいしょ	88.17	97	98	88.17	101	

注: 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)  
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック  
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもは、前年実績。  
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。  
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は青ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、10月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5.225gで前年比100%、購入金額は、1,932円で同110%となり、購入数量は前年並み、購入金額はかなり上回った。  
また、小売物価統計によると、11月のキャベツの小売価格は、188円で過去5か年平均比121%、レタスは、574円で同149%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年			
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	5,257	106	1,861	96
6月	5,048	1,881	5,103	1,875	5,249	103	1,897	101
7月	4,421	1,691	4,386	1,675	4,456	102	1,783	106
8月	4,318	1,689	4,245	1,618	4,422	104	1,741	108
9月	4,839	1,783	4,916	1,703	4,577	93	1,863	109
10月	5,280	1,840	5,242	1,761	5,225	100	1,932	110
11月	5,030	1,630	5,039	1,602				0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888				0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注:過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

月	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	181	88	512	434	85
4月	248	207	83	466	426	91
5月	175	133	76	369	318	86
6月	140	137	98	338	274	81
7月	149	173	116	308	385	125
8月	138	140	101	414	371	90
9月	142	160	113	526	461	88
10月	150	182	121	467	432	93
11月	155	188	121	385	574	149
12月	148		0	495		0

資料:総務省「小売物価統計調査報告」  
注:1 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。  
2 平成25年11月の値は、11月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

11月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比129%(中国は同141%、アメリカは同92%)の3万1千トン、にんじんは、同151%(中国は同156%、オーストラリアは同29%)の7千トン、ねぎは、同113%(中国は同112%)の5千トンとなり、いずれも前年を大幅に上回った。

野菜の輸入数量

区分	平成23年		平成24年		平成25年1~10月		平成25年10月	
	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	689,819	85	71,723	112
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	1,533,467	98	155,715	95
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	2,223,286	93	227,438	99
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	1,136,843	94	128,408	104
中国産シェア	52		51		51		56	

資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成24年11月(A)		平成25年11月(B)		(B)/(A)
		前年比	前年比	前年比	前年比	
たまねぎ	合計	23,730		30,681		129
	中国	18,195		25,600		141
	アメリカ	5,534		5,081		92
にんじん	合計	4,524		6,831		151
	中国	4,325		6,750		156
	オーストラリア	164		47		29
ねぎ	合計	4,178		4,707		113
	中国	4,167		4,680		112

資料:農林水産省「植物防疫統計」注:平成25年11月は、速報値。

## 4 トピック — 野菜の輸出動向 —

「和食:日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産への登録が12月上旬に決定され、今後、和食文化の内外への発信とともに、生鮮野菜を含む農林水産物・食品の輸出拡大が期待されている。

生鮮野菜の輸出量は、いわゆるリーマンショック後の世界的な景気後退もあり、平成19年をピークに減少傾向であったが、平成25年の1~10月期には7千6百トンとなり、既に前年の年間輸出量(6千5百トン)を上回る水準となった。

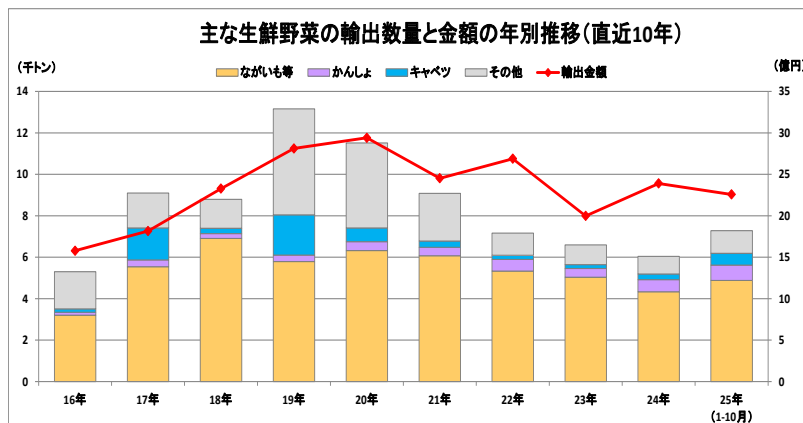
品目別にみると、台湾や米国等において薬膳料理等の食材としての販路の開拓に成功しているながいもが過半以上を占めており、最近の円安効果もあり平成25年もその輸出を伸ばしている。

ながいもに続く品目としては、かんしょ、キャベツ、かぼちゃ、にんじん、メロン等があり、いずれも平成24年比べて増加している。

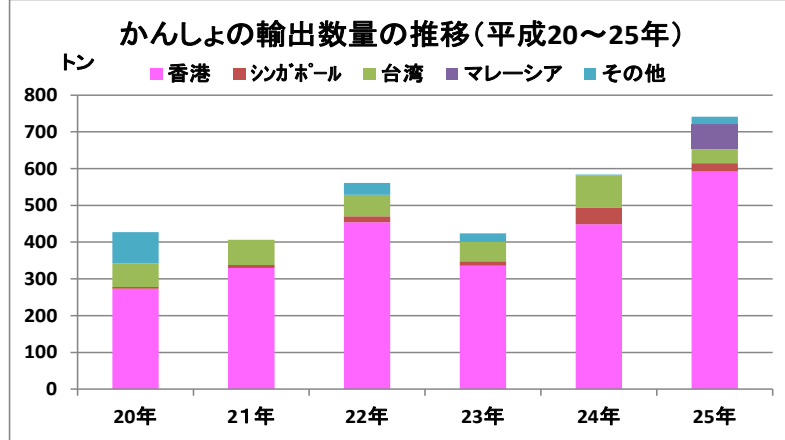
特に、かんしょとメロンは、その伸びが大きく、平成25年(1~10月期)は、平成20年(年間計)に比べ、それぞれ、1.7倍の741トン、1.5倍の107トンへと増加している。

かんしょは、香港等では、その甘さに加えて小型のサイズがおやつ等の食材として人気であり、メロンは、アジア富裕層向けに販路を徐々に広げつつある。

成長著しい東南アジア等向けを中心に、ジャパンブランドとしての野菜の輸出拡大を図るためには、他の競合輸出国の産品との差別化を含めた綿密なマーケティング、品揃えの充実と周年供給体制の確保、鮮度の保持や輸送コストの削減等に産地も含めた関係者が一体的に取り組むことが重要となっている。

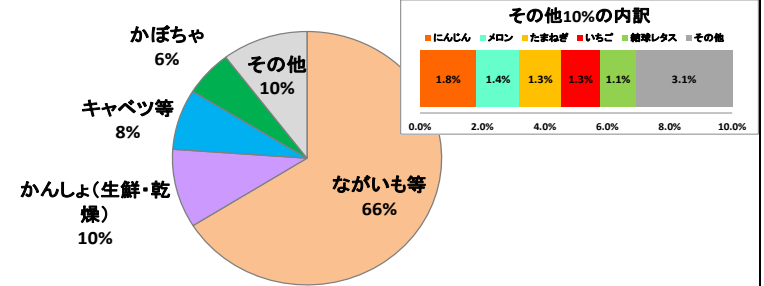


資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

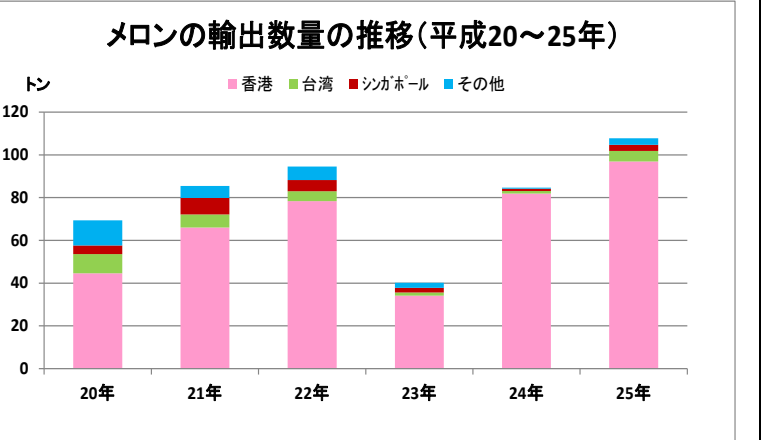


資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」  
注:平成25年は、1~10月の実績

生鮮野菜の輸出数量の品目別割合(平成25年1~10月)



資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」



資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」  
注:平成25年は、1~10月の実績

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。□

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html)に掲載しています。